

## 首里城公園開園 20 周年記念特別展

### 「首里城に魂を！ ～国内唯一の赤い城 二十年のストーリー～」実施結果報告

大城 樹<sup>1</sup>

#### はじめに

首里城公園南殿二階特別展示室では、常時文化財を展示公開する常設展示・企画展示を行っている。今回は、首里城公園開園 20 周年の記念として「首里城に魂を！ ～国内唯一の赤い城 二十年のストーリー～」という名称で特別展を実施した。平成4年の開園以来首里城公園では、琉球王国時代の扁額・楽器・祭器の復元や、散逸した文化財の収集に取り組んできた。特に、原材料や技術者不足で困難を極めた復元製作の道のりや、地道な活動による美術品の収集・調査研究の奇跡を、連続するシリーズ企画展として行い、琉球王国の漆工芸品の歴史や技の巧みさ、首里城と共に歩んだ20年の歩みを、多くの県民や沖縄を訪れる観光客へ伝える。また、今回の展示会の実施が、入館者にどのような反響を与えたのかを確認するため、当財団は、展示期間中に一定期間を設けアンケート調査を行った。そこで、特別展「首里城に魂を！」の実施結果を報告しながら、アンケート集計内容を紹介し、入館者の動向を分析し考察を行ってみた。

#### 1 特別展の実施概要

1) 特別展の名称：首里城公園開園20周年記念特別展「首里城に魂を！」

2) 個別テーマ及び日程

第Ⅰ期 首里城に魂を！Ⅰ ～琉球人が描いたもの～

平成24年7月6日(金)～9月5日(水) \*会期日数:62日

第Ⅱ期 首里城に魂を！Ⅱ ～琉球の漆工藝～

平成24年9月6日(木)～11月7日(水) \*会期日数:63日

第Ⅲ期 首里城に魂を！Ⅲ ～琉球楽器の復元～

平成24年11月8日(木)～12月12日(水) \*会期日数:35日

第Ⅳ期 首里城に魂を！Ⅳ ～王族を彩る衣裳～

平成24年12月13日(木)～平成25年1月14日(月) \*会期日数:33日

3) 会場：首里城公園南殿二階特別展示室

4) 期間中の入館者数：933,150名(うち、各会期中の入館者は、第Ⅰ期:259,580名、第Ⅱ期:311,437名、第Ⅲ期:207,122名、第Ⅳ期:155,011名)

5) 個別の特別展の展示レイアウトと展示資料

本特別展では、テーマに沿った琉球王国時代の文化財の展示や、復元等を行ったものの展示を行った。展示に活用した文化財の総件数は72件77点(第Ⅰ期:17件17点 第Ⅱ期:17件22点 第Ⅲ期:22件22点 第Ⅳ期:16件16点)で、公開した文化財は全て一般財団法人 沖縄美ら島財団所蔵資料である。特別展の展示レイアウトと展示資料・アンケート集計グラフは別付録を参照。

---

\*1 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 事業課 調査展示係

## 6) 図録の製作・販売

本特別展の図録を製作して、首里城及び琉球の美術工芸資料の内容を解説紹介しながら、首里城公園の利用促進を図るものとした。発行部数は3,000部であった。

## 7) 広報の実施内容

### (1) 首里城公園ホームページの活用

首里城公園のホームページに展示内容を更新して掲載し、周知を行った。

### (2) パブリシティ広告の活用

県内新聞紙・雑誌の無料掲載欄を積極的に活用し、開催の告知を行った。

### (3) 告知チラシ

A4判両面カラー告知チラシを100,000部作成し、県内博物館・図書館・観光地等を中心に配付した。

## 8) 入館者プレゼントの実施

入館者に特別展及び琉球の文化財に関心を持ってもらおうと、会場内に設置したキーワードと特別展に関するアンケートを応募用紙に記入し、会場内で応募してもらい、抽選で今回製作した図録「首里城に魂を！」をプレゼントする取り組みを行った。アンケートの実施内容及び集計結果は次項を参照してほしい。

## 2 アンケートの実施

### 1) アンケートの記入方法

会場内に設置したキーワードと特別展に関するアンケートを応募用紙に記入し、会場内で応募してもらい、抽選で、今回製作した図録「首里城に魂を！」をプレゼントする取り組みを行った。

### 2) アンケートの項目

アンケートの項目は下記の通り。

〔表面〕 図録プレゼント応募用紙

◆氏名      ◆性別      ◆住所      ◆キーワード

〔裏面〕 アンケート

Q3：年齢      0～10代      20代      30代      40代      50代      60代      70代以上

Q4：首里城公園への訪問は何回目ですか？      初めて      2回目      3回目      4回目以上

Q5：今回の特別展をどうやって知りましたか？

ホームページ      ポスター・チラシ      新聞( )      情報番組・ニュース      情報誌・雑誌( )  
ラジオ (FM沖縄：「風にふかれて首里城めぐり」など)      ここに来て知った  
前回の展示会を見て      その他( )

Q6：企画展の告知方法として、どのような方法が効果的だと思いますか？ ※複数回答：可  
ホームページ      ポスター・チラシ      新聞      情報誌・雑誌      CM(テレビ or ラジオ)  
その他( )

Q7：今回の特別展はどうでしたか？

非常におもしろかった      おもしろかった      普通      おもしろくなかった

Q8：次回は特別展「〇〇〇」が開催されますが…

見に行きたい      考え中      見に行かない      その他( )

☆ご意見・ご感想

なお、プレゼントの応募用紙に記入させる方式をとったので、アンケート記入者の出身地がかなり正確に調査できた。

### 3 アンケート結果と分析

#### 1) アンケート期間（特別展開催中、一定期間でアンケートを行った。）

第Ⅰ期 平成24年7月6日（金）～7月20日（金）（日数：15日間）

第Ⅱ期 平成24年9月6日（木）～9月20日（木）（日数：15日間）

第Ⅲ期 平成24年11月8日（木）～11月29日（木）（日数：22日間）

第Ⅳ期 平成24年12月13日（木）～平成25年1月3日（木）（日数：22日間）

#### 2) アンケート回答数：354,572名（うち、各会期のアンケート期間中の入館者は、第Ⅰ期：54,088名、第Ⅱ期：56,828名、第Ⅲ期：131,289名、第Ⅳ期：112,367名）

図録プレゼントに応募した件数は、期間中の合計2,367件あった。そのうち、アンケートまで記入された入館者は1,887件、プレゼント応募者の中でのアンケート回収率は79.7%であった。アンケート回答件数は、アンケート期間中（74日間）の入館者（354,572人）に占める割合でいうと0.5%であった。

#### 3) 特別展見学者の出身地の割合

アンケートに回答した特別展（Ⅰ～Ⅳ）見学者の出身地の割合は、県内客が10.9%、県外客が88.6%であった事から、圧倒的に県外客が多い事が分かる。その内訳をさらに紹介すると、県内客では那覇市が28.8%で最も多い。次いで、浦添市が12.2%と多く、その他の市町村は20人以下である。県外客での内訳は、東京都が15.3%で最も多く、次いで神奈川県が9.9%、大阪府が6.7%ではあるが、千葉県が6.3%、埼玉県が6.1%と圧倒的に関東圏が多い。

#### 4) 年齢

0～10代の22.5%が上位を占め、次いで20代の19.5%、30代と40代が17.9%、50代が12.3%の割合であった。60代以降の年齢層は、60代が7.5%の割合であり、70代以上は2.2%と回答が少なかった。

0～10代が多い要因としては、中・高校生の修学旅行先として海外では無く国内、特に沖縄県が選出された事が考えられる。

#### 5) 性別

男性が36.4%、女性が63.2%であり、女性の方のアンケート応募が多かった。テーマが「首里城に魂を！」という耳慣れないタイトルではあったが、特に女性の興味が高い漆器や衣裳を取り上げたことと、展示内容の充実、抽選ではあるが無料で図録をプレゼントする取り組みとしたことが、女性のアンケート応募が多かった要因の一つではないかと思われる。

#### 6) 特別展の事前認知度

「今回の特別展を何で知りましたか？」に対して62.5%の方が「ここに来て知った」と回答している。事前にマスコミリリースや告知チラシの県外旅行社、県内配布（県内博物館・図書館・観光地・那覇市内の小・中学校等）、首里城公園ホームページでの告知を行ったが、入館者への事前周知が不十分だったようである。多くの方に沖縄の歴史や文化などを知ってもらう上でも、ただ配布するのではなく、工夫を凝らした広報方法を考える必要がある。また、事前に知っていた入館者は、ポスター・チラシが17.1%と多く、次いでホームページが8.1%、情報誌・雑誌が3.5%と、街中を歩いて目に付くポスター広告や、メディアを介した方法が良いように感じる。「告知の方法として、どのような方法が効果的だと思いますか？」に対しては、

ホームページが46.9%と最も多く、次にCMやポスター・チラシが好ましいと答えており、半数以上の方がメディアを通して首里城への情報を得ようとしている事を考えれば、やはり、メディアを介しての方法が有効ようである。その他に、「空港での特設コーナー」や「モノレール駅のポスター」、「レンタカーでのちらしにけいさい」、「旅行会社のパンフ」、「国際通りにパンフをおく」など、旅行手配先や、旅行の移動手段先で目にする場所が挙げられた。また、「芸能人に宣伝してもらおうとか…」などの回答もあった。確かに、注目を得られる確立は高いので、県内出身の芸能人もしくは首里城に縁のある芸能人に、首里城大使の様な役職でPRしてもらおうのも一つの案なのかもしれない。

#### 7) 特別展の満足度

特別展の満足度について、全体の割合では、「非常に面白かった」が37.1%、「面白かった」が55.1%と、全体で92.2%の方が満足していただいたものと思われる。どのような内容が満足を得ていたのかは、文末のご意見・ご感想報告の中に理由が書かれているので参照してほしい。

また、満足度が92.2%であったのに対し、次回も見に行きたいと回答した入館者は、全体で52.1%であった。要因として、その他の解答に「見に行きたいが遠方のため、見に行けない」、「金銭・時間的に余裕があれば」といった内容の解答が多くみられた。そのため、「いつでも行ける」場所にある県内の方を対象とした、入館者（リピーター）の掘り起こしを行う必要性を感じた。

#### 8) ご意見・ご感想の記入内容

ご意見・ご感想の内容は、「地元にある世界遺産。訪れて本当に良かった！！子供たちや両親もつれてぜひまた来たいです。」（第Ⅰ期より）、「地元再発見できました。」（第Ⅲ期より）、「沖縄出身ですが、なかなか来る機会がなかったのですが、これからは来れるようにしたいと思います。」（第Ⅳ期より）など、県内の方からの感想が複数見られた。県内の方の傾向として「何かのきっかけで首里城へ行って見たが、知らない事もあって、色々新鮮だった！」といった感動があり、そこから首里城や沖縄の歴史に興味を持っていただけるようだ。そんな方から、一度も首里城へ訪れた事のない方への「あんまり面白くないと思っていたけど、首里城行ってみたら、何か良かった」などの口コミが広がっていき、たくさんの県内の方が訪れるきっかけになりかねないのではないかと思うと、告知の方法としては広報の力だけではないように思う。口コミに頼るわけではないが、県内の方のリピーターの掘り起こしを行うのなら、首里城へ行ってみるきっかけ作りが大事だと思う。そのためにも、少しでも県内の方が足を運びたくなるようなイベントや企画展の開催を考えていく必要がある。また、今回も「カミマヤア〜」（当財団所蔵「月下神猫図」をモデルとした解説キャラクター）と「ハクタクおじい」（当財団所蔵：県指定文化財「白澤之図」をモデルとした解説キャラクター）のキャラクターを使い、資料の解説や案内を行った。それについて、「“ハクタクおじい”が可愛かったですね。キャラクターを作っていただけて、より、頭に入って来ました。また来年、来ますね♪」、「イラストなどがあり、子供でも見やすかったです。」（以上、第Ⅰ期より）、「かわいいキャラクターと、たのしいコメントで、とてもたのしく見てまわることができました！！」（第Ⅲ期より）、「子供たちが、“おじい”のことばを読めていましたよ！」、「ハクタクおじいがユニークで良かったです。カミマヤア〜とコンビ？でわかりやすく、説明を理解することができました。」（以上、第Ⅳ期より）などの感想がほとんどであった。興味を持って博物館や美術館を訪れるのとは違い、「観光地」として訪れる方が多い事は否めないで、興味を持って見ってもらうのは難しく感じる。そんな中、キャラクターの取り入れは、学生や未成年者にとって、興味が無いため素通りしてしまう企画展会場も、目に入ったキャラクターから、重苦しさが軽くなり、ついつい資料に目が行く流れになるように思う。そうなるからなのか、大多数の方、特に小さいお子さんを連れた家族連れの

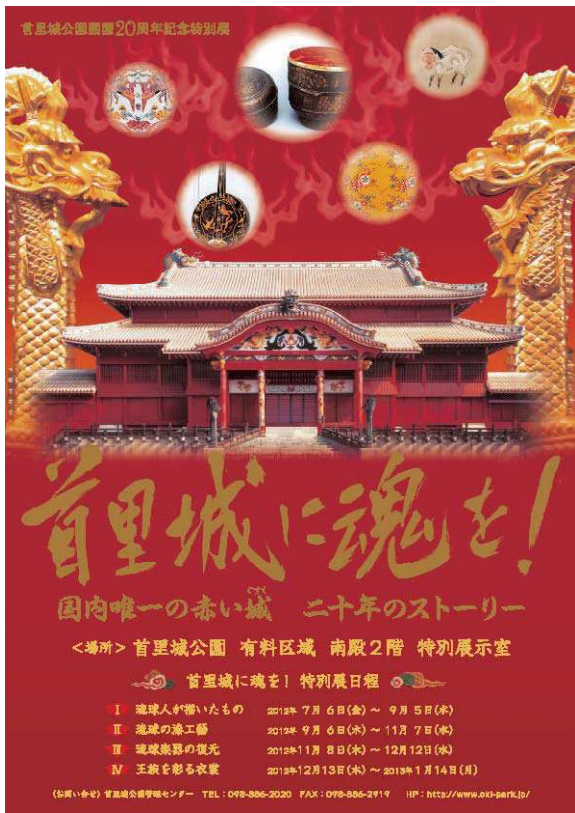
方に好評であった。他にも、「年間パスポートを購入しました。また続きをみにきます!!」、「とってもおもしろかったので、友達にも紹介したいと思っています!!」（以上、第Ⅰ期より）、「外から観るだけでは決してわからないことが知れて興味深かったです。」「力を入れていることがわかる。よかった。」「こうゆーの大事だと思います!!!たのしかったです。」「すごく（見学できて）感動です。群馬にいて沖縄の工芸について語っても、わかりませんでした。百聞は一見にしかずで、本物を目にしてじかに感動できたこと感謝致します。20～30分で見学予定が、2時間かかりました。ありがとうございます。」（以上、第Ⅱ期より）、「音楽がすきなので、とてもおもしろかったです!わざわざ遠くからきたかいがありました。」「家族旅行の記念になりました!ありがとうございます。」「琉球舞踊で生の演奏を聴いた後だったので、じっくり見ました。すごい歴史を感じます。今度ゆっくり来たいです。」（以上、第Ⅲ期より）、「「そうなのか!」ということが多くて、おもしろかったです。」「Ⅰ～Ⅲもみたかったなあと思います。とてもきれいでした。」（第Ⅳ期より）などがあつた。また、「とてもよかった。東京のデパートなどでも見たい。」（第Ⅰ期より）、「関東でもやってほしい。」（以上、第Ⅱ期より）、「ぜひ東京でもバージョンアップ・スケールアップしてやっていただきたいです。」「紅型に興味があり、名古屋松坂屋の紅型展を観たばかりだったので、とてもおもしろかった。」「秋に紅型展を大阪で見て、沖縄の歴史・文化に大変興味をもち、今日観光で訪れましたところ、偶然この展示を見ることができ、大変うれしくなりました。とても興味深くみせていただきました。」（以上、第Ⅳ期より）などの声もあり、当財団所蔵資料の展示公開を中心とした、琉球王国の歴史文化に関する移動巡回展等の取り組みや、他県との共同開催を行い、首里城と連動した企画展を行う事が首里城公園の誘客に有効である可能性があるものと思う。また、「もっと広く知らしめるべき」（第Ⅰ期より）、「とても良い企画で、地元の沖縄の伝統を知る良い機会になった。このような企画を知らない人が多いので、もっと宣伝すべきだと思う。」（第Ⅳ期より）など告知不足の声もあり、今後の課題である。

#### 4 まとめ

今回の特別展で、来館者の62.5%の大多数が「ここに来て知った」と答えている。前回企画展「首里城のデザイン」における同じ質問が67.9%であったため、僅かではあるが改善していると言える。しかし、先にも述べているが全体的に告知不足であったことは否めず、今後の大きな課題である。特別展の内容自体は、全体で92.2%の方が内容に満足して頂いており、見学後の満足度が高いことから、広報告知を充実させ、まずは企画展開催の認知を高める必要があるものと思われる。また、首里城へ訪れる方の大多数が「観光地」としての意味合いが大きいように思う。首里城公園内で企画展を行っている事を知ってもらうためには、広報の更なる工夫や展示企画の内容も重要だが、県内外の方に共通する傾向だと思われるが、「知らない」から実物を見る（見に行く）気は湧かず、知っていれば様々な疑問や興味が湧き、実物が見たくなるのではないかと思う。そこで、今後、県内の方を対象とするならば、沖縄の歴史や文化を根付かせる意味も込め、小・中・高校生の学生へ目を向ける必要があるのではないかと考える。まずは「知ってもらう」為に、どのような方法で種を蒔いていくのか、これからの新たな課題としたい。

首里城公園が開園して20年の時が経っている事の周知はあまり出来なかったように思うが、この20年間行ってきた事を大分理解していただけたと思う。今後も、これまで分かっている事や新たな発見など、見学者の興味が湧いてくる様な展示方法で、解りやすく楽しめるような紹介をしていき、更なる周知・広報の強化を行っていくとともに、アンケートの意見・感想にあつた事を踏まえ、満足していただけるような企画展の開催を行い、「首里城の企画展を見に行く」といった方が増えていくよう、これからも努めていきたい。

# 告知チラシ



首里城公園開園20周年記念特別展

## 首里城に魂を!

首里城正殿復元! 市民の志願の達成は、新たなストーリーのはじまりだった!

首里城正殿復元! 市民の志願といわれた一大事業が完成した後、首里城公園では、さらに琉球王国時代の扁額・楽器・祭器の復元や、散逸した文化財の収集に取り組んできました。困難を極めた復元製作の道のり、地道な活動による美術工芸品の収集。ひとつひとつの事業に魂を込めて行ってきた首里城公園の調査研究の軌跡を紹介していきます。

**全展示の内容**

**I 琉球人が描いたもの**  
華麗な工芸品のデザインを描いた王府の絵師たち。現存する琉球最古の絵画、自了筆「白澤之図」から王府最末期の絵師查本烈筆「七龍馬之図」など、首里城公園が収集することができた王府の絵師の傑作を紹介します。

**II 琉球の漆工藝**  
5年の歳月をかけて復元した尾張徳川家伝来の徳川家康の遺品である朱漆花鳥七宝堂沈金密陀輪御供盤(国指定重要文化財)の初公開を行います。また当財団が収集した琉球漆器から螺鈿・密陀輪・沈金・漆継技法の逸品の紹介を行います。

**III 琉球楽器の復元**  
6年の歳月をかけて復元した尾張徳川家伝来の琉球楽器一式の展示を行います。御座業とよばれる琉球の宮廷音楽は、かつて首里城内や江戸上り時に演奏されました。復元された華やかな琉球楽器の展示をお楽しみ下さい。

**IV 王族を彩る衣裳**  
琉球王国の美を彩った紅型や織物の衣裳の紹介を行います。国宝尚家資料と同じデザインの衣裳など、首里城公園が収集してきた染織資料の展示を通して、琉球王国の独特の色彩感覚をご堪能いただければと思います。

**公観までのご案内**

1. 遊園バス: 首里城公園入口2階にて下車。徒歩約5分
2. モノレール(951レール): 首里駅又は豊原駅にて下車。徒歩約15分
3. 日車: 豊原駅下車時 豊原駅前乗車。首里城跡にて下車。徒歩約2分
4. 無料バス: 高城村駅前下車時(有料) 各ご利用下さい

**お問い合わせ**  
首里城公園管理センター  
**TEL. 098-886-2020**

FAX: 098-886-2919  
Eメール: [info@ok-park.jp](mailto:info@ok-park.jp) / [pr@ok-park.jp](mailto:pr@ok-park.jp)  
Facebook: <https://www.facebook.com/okpark>  
Twitter: <https://twitter.com/okpark>  
Instagram: <https://www.instagram.com/okpark>  
YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UCkxwv10-20-10-25>  
過去版改訂版印刷物: <http://blog.mokunawa.co.jp/furujp/podcast/>